

子ども読書プラン 【5つの取組みの方針】について

(1) 家庭における読書活動の推進

◆はじめての絵本事業

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
絵本パック 配布率	99.1%	99.4%	99.5%	99.5%	99.4%

ここ数年間、コンスタントに対象者の99%以上に絵本パックを配布できており、市民にとって定着した事業となっている。

また、絵本パックの中に子ども電子図書館のチラシを同封しており、(チラシのQRコードから電子図書館の閲覧と利用登録ができる。)乳幼児向けの電子書籍(絵本)を増やすとともに、図書館に行けない時も家庭で絵本を楽しめる旨案内している。

【配布方法の変更について】

令和6年4月1日から絵本パックの内容と配布方法を変更

内容	令和5年度まで	令和6年度から
配布方法 ・時期	区役所保健福祉課窓口において 母子健康手帳交付時に配布	区役所保健師等による乳児(～生後 4か月)のいる家庭への訪問時
配布物	・絵本2冊 ・絵本リスト ・図書館カード申請書 ・チラシ2枚(はじめての絵本、 親子ふれあいルーム)	・絵本1冊 ・絵本リスト ・図書館カード申請書 ・チラシ2枚(はじめての絵本、 電子図書館利用案内)

平成28年度にスタートしてから8年間、同様の方法で実施してきた事業の見直しを行った。配布する絵本を1冊にし、電子図書館の利用を促すことで、外出がままならない乳幼児期の家庭の読書を支援するとともに、電子図書館で触れた絵本をきっかけに、今まで図書館を利用したことがない保護者の来館につなげたいと考える。

◆夏の読書カード配布による「家読」^{うちどく}の実践

毎年、夏休み期間に家庭でも読書を行ってもらうための「夏の読書カード」を作成し、市内の保育所(園)、幼稚園、小・中・特別支援学校に配布している。年齢・学年に応じて図書館がおすすめする本を掲載するとともに、「家読」と「読書ゆうびん」の実践について案内した読書記録用カードである。

例年、「家読」を実践した子どもたちから、子ども図書館に「読書ゆうびん」が届いている。

また、このような取組の結果、本市の令和5年度の「読書好きな保護者・家庭の割合」は75.8%で、令和7年度の目標値(75%)を上回る結果となっている。

(2) 学校における読書活動の推進

◆学校図書館と市立図書館の連携

事業	内容	予定時期
市立図書館への作品展示	読書活動の成果物等の展示	
子ども読書の日（全国）	4月23日前後に全校で読書活動を実施	4月
学校図書館教育講習会 （子ども図書館→学校図書館職員及び管理職、希望する市立図書館職員）	講習会の実施 ・学校向けサービスの周知 ・読み聞かせボランティア派遣の説明 ・運営相談・司書派遣の説明	5月
学校図書館職員研修会	学校図書館職員、図書館主任、及び公共図書館職員の合同研修会	9月
	学校図書館職員とブックヘルパーの合同研修会	12月
北九州市子ども読書の日	10月第4日曜前後に全校で読書活動を実施 読書活動の成果物等の展示	10月
学校図書館職員グループ会議	学校図書館職員の区ごとの情報交換会	学期に1回
教育支援室における読書の取組	教育支援施設への司書等派遣	

学校図書館職員、ブックヘルパー、市立図書館職員の合同研修を実施し、相互の連携や職員の資質向上を図っている。また、各区の学校図書館職員が情報交換を行う場を設け、それぞれの取組や問題等を共有し、学校における子どもの読書活動に還元している。

◆学校貸出図書セットの充実

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出セット数	79セット	93セット	96セット	107セット	109セット
貸出件数	77件	101件	76件	56件	73件

令和4年度は「防災」の図書セットを新設するとともに、リクエストが多い「伝統文化」の図書セットの拡充を行った。また令和5年度はさらに希望が多いセットを増設するなど、随時内容の更新・再編を行うことで、学校における読書活動や調べ学習を支援している。

◆市立小・中・特別支援学校在学中の図書館見学件数 ※所管の分館への見学を含む

	子ども	門司	小倉南	若松	八幡	八幡西	戸畑	全市
令和3年度	28件	8件	5件	10件	8件	8件	4件	71件
令和4年度	41件	13件	12件	13件	6件	14件	4件	103件
令和5年度	37件	14件	12件	10件	14件	12件	7件	106件

令和4年度は市立小学校128校のうち93校、令和5年度は126校のうち93校が市立図書館見学に訪れ、自由閲覧、図書館の利用方法の説明や調べ学習の支援、職場体験など、学年や状況に合ったプログラムで学んでいる。

(3) 市立図書館における読書活動の推進

◆子ども司書養成講座、ジュニアサポーター活動の拡充

【子ども司書・ジュニアサポーター数】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
子ども司書	51人	活動なし	36人	36人	40人
ジュニアサポーター	25人	活動なし	34人	34人	39人

【子ども司書養成講座】

夏休み期間中に、計5回の講座を通して図書館の仕事、本の探し方、ブックトークやビブリオバトルについて学ぶほか、本の紹介カード作成、司書体験、読み聞かせなどの実習を経て、「子ども司書」として認定を受けた子どもたちが、それぞれの学校や地域における「読書リーダー」として活躍している。

【ジュニアサポーター活動】

本の配架、リクエスト本の確保、ポップの作成、館内展示物の作成（展示コーナーの一角を担当）を行うなど、様々な活動により図書館業務をサポートしている。今後は、子ども司書養成講座の指導補助や子ども図書館内での読み聞かせなど、さらに活動の幅を広げていく予定である。

◆子ども電子図書館の充実 ～さらに利用しやすい電子図書館へ

電子図書館の蔵書（令和6年6月末現在）

対象	主に子ども向け			主に大人向け			どなたでも	合計
分野	児童書	絵本	図鑑・ドリル	小説	実用書	歴史・地誌	その他	—
冊数	348冊	82冊	147冊	164冊	60冊	81冊	1,365冊	2,247冊

【幅広い年齢層に向けた資料の導入】

子ども電子図書館の開館から3年が経過し、開館時にIDを配布した子どもたちも成長しつつある。当初は子ども向けに特化していたが、勉強や部活、仕事等でなかなか図書館に足を運ばない高校生・大人にも利用してもらうため、大人も楽しめる資料を積極的に導入している。一方で、乳幼児向けの絵本や児童書、学習支援に役立つ資料も、引き続き充実させていく予定である。

*最近の導入例

実用書（ビジネス本・趣味・旅行・レシピ本など）

大河・長編小説、ミステリー、話題の文芸書、歴史書

絵本、ティーンズ向けライトノベル

自然科学、宇宙科学、生物、気象、地学等に関する参考書や図鑑

【利用登録の利便性向上】

令和6年2月末より、電子図書館の利用者登録（ID及びパスワード取得）を、自宅のパソコンやスマートフォン、タブレット等から電子申請で行えるようにした。これにより、今まで市立図書館を利用したことがない方でも、図書館に赴くことなく電子図書館が利用できる。

(4) 地域における読書活動の推進

◆文化施設や子どもが集まるイベントとの連携

イベント名称	連携先	内 容
夏の特設展示	北九州市立文学館	文学館が毎年夏休み時期に行う特別企画展に合わせて、コラボ企画を実施 かいつぞろり大冒険展 (R4) 長野ヒデ子の絵本と紙芝居展 (R5)
北九州市子ども読書の日	北九州市立自然史歴史博物館	子ども図書館のイベントに参加 石うす体験会を実施 10月22日 (R5) 10月27日予定 (R6)
小倉北子どもまつり	小倉北子どもまつり実行委員会	絵本ブースを出展し、司書によるおはなし会を実施 4月23日 (R5) 4月21日 (R6)
防災フェスタ	北九州市危機管理室	防災に関する絵本や児童書を中心に集めた絵本ブースを出展 12月17日 (R5) 12月予定 (R6)

※子ども図書館の連携例

市立図書館では、夏休み期間や市子ども読書の日に文化施設と連携したイベントを実施し、多くの子どもが図書館に来館する機会を作った。図書館からも、子どもが集まるイベントに参加し、絵本の展示、読み聞かせ、電子図書館の周知等を行った。

◆子育て関連施設との連携

イベント名	連携先	内 容
公立幼稚園4園合同ふれあい交流	北九州市立幼稚園(4園)	公立幼稚園の交流イベントに読み聞かせボランティアを派遣し、プログラムの1つとして絵本の読み聞かせを実施 2月1日 (R6)
ほのぼの子育て講座	陣の原市民センター	司書が絵本の選び方や読み聞かせの仕方などを説明し、読み聞かせを実演 1月10日 (R6)
教育支援室における読書の取組	金田教育支援室	司書が珍しい絵本の紹介、自分が好きな絵本の見つけ方などを説明し、読み聞かせを実施 2月15日 (R6)

※子ども図書館の連携例

その他、子ども図書館から、または地区図書館を通して、学校や子育て関連施設に読み聞かせボランティアの派遣を行った。

・令和5年度派遣件数：90件

【市民センターとの連携】

各図書館と市民センターでは、イベント案内や図書館だより、新刊案内等、相互に広報を行っている。また、市民センターにリサイクル本コーナーを設置する、司書を派遣して共催でイベントを実施するなど、地域で子どもの読書活動に関する取り組みを実施している。

(5) 読書活動の普及啓発の推進

◆「北九州市子ども読書の日」のイベント開催による読書活動の普及啓発

【開催日】 令和5年度 開催日 10月22日(日)

イベント名称	参加団体	内容
平和に関する読み聞かせ	北九州市立大学	平和に関する絵本の読み聞かせ
「触れる平和・戦争展示」		平和に関する資料を集め、館内に展示
オリジナルしおり作り教室		本の中から題材を探し、オリジナルのしおりを作成
クイズ「図書部からの挑戦状」	北九州市立高校	図書部の生徒が本にちなんだクイズの出題と大型紙芝居の実演
3中学校生徒 ビブリオバトル	思永中学校 篠崎中学校 板櫃中学校	各学校で勝ち抜いてきた精鋭たちがビブリオバトルを再演
POP展示	ジュニアサポーター	オススメ本のPOPを作成し、本と一緒に特設展示
石うす体験会	北九州市立自然 史歴史博物館	石うすの仕組みの講義の後、実際に石うすを挽いて大豆からきな粉を作る体験会を開催
ボルダリング体験会	公営競技局	ボルダリングを図書館内に設置し、体験会を開催
消防音楽隊コンサート	消防局	消防音楽隊の演奏とカラーガード隊の演技を披露

※子ども図書館のイベント

【成果】

令和5年度は、いのちのたび博物館の協力を得て昔の道具に触れる体験型の催しを新たに取り入れた。また、前年度に引き続き、ボルダリング体験や音楽隊公演、平和をテーマにした催しなどでイベントを充実させ、普段、図書館に来ない子どもや未就学児、保護者に対しても、来館のきっかけづくりができた。

また、北九州市立大学、北九州市立高校、近隣3中学校、子ども図書館ジュニアサポーターなど、幅広い世代が関わるイベントを実施することで、中学生、高校生、大学生の活動を発表する機会を提供することができた。

【来館者数】

1,423人(R4年度1,431人、R3年度1,358人)

【地区図書館での主なイベント】

おはなし会、絵本ミュージカル、ブックリサイクル、本の福袋、読書ノートの配布など